

第66回全国消防技術者会議の開催報告

消防研究センター

11月21日（水）及び22日（木）の2日間にわたり、第66回全国消防技術者会議が、東京都港区虎ノ門のニッショーホールで開催されました。この会議は、消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表し、消防職員や消防団員をはじめとする消防関係者間での意見交換を行う場として、昭和28年より毎年開催されているものです。また、第62回より、「消防防災研究講演会」を同時開催しています。

21日には、特別講演、平成30年度消防防災科学技術賞の表彰式及び受賞作品の発表を行いました。22日には、公募した研究成果の一般発表と、消防研究センターにおける研究成果等を発表する第22回消防防災研究講演会を行いました。内容は、21日は消防防災科学技術賞受賞作品から口頭発表15件、展示発表8件、22日は一般発表の中からの口頭発表11件と展示発表6件でした。展示発表は昼休みに会場ロビーにて行いました。2日間で全国から延べ1,140人を超える方々の参加がありました。

特別講演では、東北学院大学吉田信彌教授に、「安全知識をいかに共有するか」と題してご講演いただきました（写真1）。自動車事故や交通安全を例に取り、安全知識を専門家と一般の人との間でどのように共有することが、安全な社会に役立つかという視点から講演をいただき、消防行政にも応用できる点を指摘していただきました。

第22回消防防災研究講演会は、「大規模物流倉庫火災」をテーマとし、消防研究センターから「埼玉県三芳町大規模倉庫火災における長官調査」、「ダンボール箱から出火した倉庫火災の火災進展予測」、「ダンボールの形状による燃焼性状」と題して3件の発表を行いました。また、人間東部地区事務組合消防本部から「埼玉県三芳町大規模倉庫火災における活動概要」と題して実際の消防活動や教訓について、消防庁予防課から「埼玉県三芳町倉庫火災を踏まえた消防庁の取組」、国土交通省住宅局建築指導課から「埼玉県三芳町倉庫火災を踏まえた国土交通省の取組」と題して大規模物流倉庫火災を受けての行政の取り組みについて、アスクル株式会社から「物流倉庫

における火災防止対策」と題して端材ダンボールの管理方法の研究について発表がありました（写真2）。

次回の全国消防技術者会議の開催に関しましては、決定次第、消防研究センターホームページ（<http://nrifd.fdma.go.jp/>）等によりご案内させていただきます。



写真1 吉田信彌教授による特別講演の様子



写真2 消防防災研究講演会の様子

問い合わせ先

消防庁消防研究センター
TEL: 0422-44-8331（代表）